

2013. 4. 23.

渡航情報（スポット情報）

（件名）

ケニア：ガリッサ市内におけるレストラン襲撃事件の発生に伴う注意喚起

（内容）

1. 4月18日午後8時頃、AK47ライフル銃と手りゅう弾で武装した集団が、北東州ガリッサ郡ガリッサ市内中心のレストラン「Kwa Chege Holiday Inn」を襲撃し、10名が死亡し多数が負傷するテロ事件が発生しました。19日、事態を重く見たケニヤッタ大統領は、警察長官を始めとする治安部門責任者を直ちに現場に派遣するとともに、22日、同地の治安回復を目的として、武装警察を始めとする数百人からなる警察部隊による大規模なテロリスト及び銃器等の摘発作戦が開始しました。報道によると、この摘発作戦により100名以上の不法滞在外国人が拘束されており、警察は、ガリッサに平穏が訪れるまで作戦を継続すると発表しています。

2. 昨年9月末、ケニア軍を中心とするアフリカ連合部隊がソマリアのイスラム過激組織「アル・シャバーブ（以下AS）」の最重要拠点であったソマリア南部の港町キスマヨを制圧しました。ケニア国内ではAS関係者等による報復テロ攻撃の脅威が高まり、特に、北東州ガリッサ郡ガリッサ市においては、警察・軍隊等治安機関を標的としたASによるものと見られるテロ攻撃が多発しています。本年に入っては警察・軍隊に対するテロのみならず、下記のとおり、一般市民が直接の標的とされたテロ事件も発生しています。

（1）ガリッサ市内フードカフェに対する手りゅう弾投てき事件（1月4日発生、2名死亡7名負傷）

（2）ガリッサ市内ホテルのレストランに対する銃撃事件（1月16日発生、5名死亡3名負傷）

（3）ガリッサ市内ホテルのレストランに対する銃撃事件（2月7日発生、1名死亡）

（4）ガリッサ郡のソマリアとの国境線における銃撃事件（2月21日発生、7名死亡）

3. ケニアに渡航・滞在される方は、上記情報を考慮して最新の治安情報の入手に努めてください。北東州ガリッサ郡については、武装集団による爆弾及び襲撃テロ事件が多発し、ケニア警察による大規模なテロリストの摘発作戦が遂行されて

いるところ、不要不急の渡航と滞在を控えるなど引き続き渡航の是非を検討してください。また、同じく北東州のマンデラ郡、ワジール郡についても、武装集団による襲撃事件等が多発しているところ、引き続き渡航の是非を検討してください。加えて、北東州ガリッサ郡にあるダダーブ難民キャンプ地区については、引き続き渡航の延期をお勧めします。さらに、北東州3郡のうち、ソマリアの国境から概ね60kmまでの範囲内は、治安が確保されていないため、引き続き目的の如何を問わず渡航を延期してください。また、同地域に滞在している方には退避を勧告します。

4. なお、ケニアに渡航・滞在される方は、最近のスポット情報及び危険情報（<http://www.anzen.mofa.go.jp/>）を改めてご確認ください。

（問い合わせ先）

○外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐に関する問い合わせ）

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）3680

○外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐に関する問い合わせを除く）

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

○外務省領事サービスセンター（海外安全担当）

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）2902

○外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）

○在ケニア日本国大使館

住所：Mara Road, Upper Hill, Nairobi, Kenya

(P.O. Box 60202, Nairobi)

電話：（市外局番020）2898000（代表）

国外からは（国番号254）20-2898000（代表）

FAX：（市外局番020）2898220

国外からは（国番号254）20-2898220

ホームページ：<http://www.ke.emb-japan.go.jp/j-index.html>